20230408Chatlog

CULTIBASE:	おはようございます！本日はご参加いただきありがとうございます。まもなく10時より開始となりますので、もう少々お待ちください^ ^
和美 野口:	本日もよろしくお願いします。おはようございます。
晋一郎 林:	おはようございます！今日も楽しみです。よろしくお願いします。
知代 遠近:	おはようございます！ 今日もどうぞよろしくお願いします！
Hayahiko Okugawa:	おはようございます、よろしくお願いします！
岡田 紘平:	おはようございます。久しぶりのリアルタイム参加でわくわく！
Daisuke Yamaura:	おはようございます！同じく久々にリアルタイム！！よろしくお願いします！
CULTIBASE:	連載「リフレクションの技法」はこちら https://www.cultibase.jp/articles/7983
CULTIBASE:	チェックインテーマ Q.3年前の自分と比較して変わったなと思うところは？ ※宛先を「全員」に変更の上、お気軽に発信してみてください！
聖也 高島:	3年前：プレイヤー。「上司は何を考えているんだろう？」
RYOTA FUJINO:	多様なマネジメント、リーダー像を知って
岡田 紘平:	何か発言する前に（これを言うことでどんな悪影響が起きるかな？）みたいなことを考えるようになりました。3年前は思ったことをすぐ口にしてしまい、敵を増やしていた...w
RYOTA FUJINO:	リーダーを目指すようになった
正裕 小井戸:	仕事のために学んでいたが、今は学ぶことが生きることの一部になってきている。アイデンティティが変わった。
和美 野口:	「学び」に貪欲になりました笑。 あと、メンバーの成長を第一に考えるようになった気がします。
晋一郎 林:	会社（組織）をとらえる視座が変わりました。 狭い組織のことだけを考えていたところから、会社全体としてどうなのかというような。
聖也 高島:	今：マネージャー。「チームメンバーは何を考えているんだろう？」
Hayahiko Okugawa:	自身の強みを意識して発揮できるようになったと思います
真哉 高橋:	仕事に対しての考え方が変わりました
Keishi Matsumoto:	様々なネガティブな出来事に対して「私はポジティブに捉えていて・・・」と話し始めることが多くなった。
浩幸 土屋:	自分に目を向けるようになりました。
茜 寺田:	職場外に目を向けるようになってきた。 いい意味で受け流せるようになってきた。
Taro Yasuma:	キャリア志向が上昇からスパイラルを目指すようになりました。
Daisuke Yamaura:	視座が現場から会社になったような気がしますが、それが故に組織の理想と現状のギャップに苦しむようになりました(苦笑
知代 遠近:	少し穏やかになった気がします。 ちょうどコロナでオンライン講座を受けられるようになり、ジャーナリングやコーピングに出会えたのが原因かと
CULTIBASE:	チーム・リフレクションの実践知： 不確実性の中でプロジェクトを前へ進める学びの方法論 https://www.cultibase.jp/videos/13056
RYOTA FUJINO:	「なぜ」を振り返るとき、「なにがスイッチになってそうしたのか？」みたいな理由を省みるのではなく、その時の認識や感情に向き合うのが大事なんですね
Tomo Inoue:	「自分がなぜそのように認識したかを振り返る」は意識しないとやらなそうですし、１人だと結構難しそう
RYOTA FUJINO:	個人で振り返るだけでは難しいんですね・・・
Daisuke Yamaura:	他者が同じレベルでリフレクションを拾ってくれる環境を育てていく必要もありそうですね
Tomo Inoue:	自分が認識して考えていること（やっていること）でも、言葉にしてみてはじめて自覚できる感覚はたしかにあります
RYOTA FUJINO:	自分なりに言葉にしてみた結果、周りに伝わらないっていう経験を繰り返して、徐々に「他者に伝える」ための言葉磨きが進んできますね。そうすると再現性や応用力がどんどん増してくる気がします。
RYOTA FUJINO:	会議の時間は短く！という号令がかかる中、こういう活動に時間を振り向けるのは大事だけど難しい・・・
瀧 知恵美:	「会議の時間は短く！」はありますよね。リフレクションは目的を明確にして、みんなが必要性を感じられる場にできるとよいですよね。（なかなか簡単ではないですが）
masaki nakamura:	暗黙知を持っていそうなメンバーって、ポテンヒットとか拾ってくれる感じの人かなー。リスク感覚があるっていうか、よれ始める臭いに気が付ける人。
RYOTA FUJINO:	そうですね！みんなに必要性を感じてもらうのが大事だと思いました。一方で、こういう活動って何の意味があるのか？と考える人や自分の考えや暗黙知を言葉にすることに慣れていない人がいるなど、リフレクションに対するスタンスの違いがあると意義あるプロジェクトのリフレクションに繋げにくくなる気もしますね・・・ファシリテーターの技量が求められるというか・・・
RYOTA FUJINO:	SIerだと左側は技術的な知識、右側は業務知識って言われてそうな気がする。メタ認知的知識はあるべきシステム像、サービス像みたいな感じかな。。。
masaki nakamura:	メタ認知的知識がクライアント担当者の知だとすると、顧客の期待値を上回れているのかどうかっていうセンシングかなぁ。
RYOTA FUJINO:	デザイナー同士の交流やPM同士の交流が必要って言われるの、こういうメタ認知的知識が見えてくるからなんだろうな。
RYOTA FUJINO:	ただ、同じプロジェクトにいたメンバーからの見え方っていうのは新しい視点だ
知代 遠近:	おぉ！言語化のヒアリングがまさに行われている!!
晋一郎 林:	いざふりかえれと言われても、なかなか出てこないという気持ちわかります。
浩幸 土屋:	他人の壁打ちは付き合うのですが、自分になるとできていないですね。
RYOTA FUJINO:	マネージャーになるとそういうフィードバックを受ける機会減りますよね・・・
Taro Yasuma:	1on1で、手続的知識の方に時間を取られてしまい概念的知識に至らないのは難しいなと思います
Hayahiko Okugawa:	ヒロアカ引用をする小田さんのコメントに目がいってしまった…w
masaki nakamura:	ぐいっとやるって暗黙知だと思うけど
Hayahiko Okugawa:	水平思考って感じかなあ
RYOTA FUJINO:	自分の培っていた能力による役割認識（アイデンティティ）が今の状況にどう適用できているかを捉え直す感覚かな・・・
RYOTA FUJINO:	キャリアチェンジを経験した人はこれをやれるかどうか重要な気がする
RYOTA FUJINO:	MIMIGURIだと和泉さん・・・？
RYOTA FUJINO:	この深さに潜るには時間とか精神的な余裕、そして導いてくれるインストラクターが必要だ・・・
amano satoshi:	「暗黙知の共有」という前半のテーマと、自己変容はつながらないのかな？
amano satoshi:	チームも個人も、「価値観」までフカボリするということ？
RYOTA FUJINO:	個人の発達や変容がリフレクションによって促されるように、チームや組織の発達や変容に繋げられるんだろうか
晋一郎 林:	まさにワークショップ型の組織の在り方に繋がっていきそう。
amano satoshi:	個人の「アイデンティティ」と、チームの「暗黙知」の概念を整理したい。
RYOTA FUJINO:	それともあくまで発達や変容は個人のものであって、チームとしては相互理解・組織としては事業価値の明確化や拡張になるのかな。組織アイデンティの変容は起こらないのか・・・というようなモヤモヤ
浩幸 土屋:	個人の暗黙知の集合体が、チームの暗黙知であり、逆はあるのでしょうか？
知代 遠近:	これ、三行日記で毎晩書いています。かれこれ２年ちょい
晋一郎 林:	「誰にリフレクションを開くといい？」という観点はなかった。
amano satoshi:	学習によってアイデンティティが日々変容しているとして、それを「自覚」することがなぜ重要なのか？
Hayahiko Okugawa:	ジョハリの窓の盲目の窓に目を向けるための他者共有ですかね
RYOTA FUJINO:	同じ職種・専門性の横のつながりを組織の中で作っていくというのは組織作りをやる人が知っておきたいところかも
RYOTA FUJINO:	目的によってリフレクションのやり方も変わりそうだ
RYOTA FUJINO:	プロジェクトみたいな一つの具体的な目標に向かっていく組織のリフレクションと、あるミッションのもと定常的に活動するチームのような組織のリフレクションは違う気もしている・・・
amano satoshi:	個人の気づきをチームに持ち込める場を作る、まずはそこから。確かに。
Taro Yasuma:	チームごとにリフレクションの熟達度が違いすぎて組織レイヤーにいけないという悩みがあります
真哉 高橋:	結果でなく、感情、考え方にフォーカスされているのが良い雰囲気を作るんですかね
知代 遠近:	たってー先生だ✨
CULTIBASE:	ラーニングパスはこちら ▼ラーニングパスを視聴してみる https://www.cultibase.jp/learningpath ▼ラーニングパスの楽しみ方を確認する https://www.cultibase.jp/how-to-enjoy#learningpath
CULTIBASE:	本日のリフレクションシートはこちら https://forms.gle/wZE6U3XGaDXs44WF8
知代 遠近:	ありがとうございました！
Yosuke Akahane:	学び深くてあっという間でした！瀧さん、根本さんありがとうございました〜！
和美 野口:	本日もありがとうございました！試してみます！
晋一郎 林:	ありがとうございました！